

## 第34回神戸市みちの懇談会（議事要旨）

日 時 令和元年7月17日 午前9時45分～11時45分

場 所 職員研修所 第2研修室

### 1. 神戸市自転車活用推進計画（案）について

- ・ある程度今実現可能な内容で問題解決するような計画案であるが、もう少し大胆な神戸市の将来像について計画すべきである。
- ・歩行者と自転車の混在による接触事故を避けるために自転車を車道に追い出すことはわかるが、この場合に自動車と自転車の接触事故が当然起こる可能性があるため、完全分離を意識した自転車道を計画すべきである。
- ・長期的な目標が計画で示されていない。
- ・今の社会で大きな課題は少子高齢化であり、割引制度などの高齢者の方たちへのサポートとなる施策を計画に盛り込んでも良いと思う。
- ・最近では電動自転車が発達して自転車での移動がより楽になったので、自転車通勤に対してもっと力を入れてもいいと思う。
- ・三宮-ポートアイランド間など、通勤時に電車が混雑するような区間を自転車通勤のモデル路線に指定して整備すると効果的である。
- ・六甲山やウォーターフロントなどの観光スポットで、自転車に関するイベントができればと思う。
- ・違法駐輪対策として目力看板や制服を着た指導員がいるだけで抑止力が働いていると思うので、腕章などそういう対策とがあれば市民の人への効果があるのでは。
- ・自転車利用者を増やしたいのであれば、社会的意義を市民に対してアピールする必要があるがその視点が入っていない。
- ・自転車のIoT化について、例えばコベリンを活用するなどしてもっと推進すべきである。
- ・世界的にスマホ決済によるキャッシュレス化が進んでいるので、コベリンにおいて払いやすさというのも今後進める必要がある。
- ・案内看板の多言語化およびQRコードでの対応。
- ・現状、使っていないから需要がないわけではないと思うので、見えてない、新しい使い方というのをどんどん掘り起こすようなことのインセンティブを市民から受けるべきである。